

令和 8 年第 4 回定例会一般質問通告要旨〔概要版〕

● 6 月 1 日(月)：順番 1 ～ 順番 5

順番	1	質問者氏名	清 野 栄 一
質問事項		質問要旨	
1	第 6 次「学校図書館図書整備等 5 か年計画」の達成状況について	<p>文部科学省では、令和 4 年度から令和 8 年度を対象期間とする第 6 次「学校図書館図書整備等 5 か年計画」を策定。本計画は、公立小中学校等の学校図書館における、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充が図られることを目的としており、本計画に基づいた地方財政措置（5 か年で 2,400 億円）が講じられている。そこで、この財政措置に応じた対応状況（令和 6 年度～8 年度）と予算措置が交付税算定基準と乖離がある場合はその理由についても伺う。</p>	
2	通学バスについて	<p>通学バス運行についてはハードも含め万全を期していると思われるが、運転員の健康管理についてどのような対応なのか伺う。</p>	
3	瓢湖等の環境改善等について	<p>かねてから要望していた北東側排水堰が復旧された。特に夏場に滞留している腐水の排水促進効果を期待しているが、以下について伺う。</p> <p>①瓢湖の水位と水温(夏、冬)及び適切な水位②取水源と夏場の渇水対策③へドロの堆積状況と対策④瓢湖水きん公園管理事業の進捗状況と課題⑤瓢湖水きん公園周囲の排水路維持管理。</p>	

順番	2	質問者氏名	披田野 勝 幸
質問事項		質問要旨	
1	「低利用・未利用公有財産」の対策について	<p>市が策定している「阿賀野市公共施設等総合管理計画」及び「第 1 期アクションプラン（令和 4 年度～令和 8 年度）」では、企業や地域の活力による PPP・PFI 方式での対策を進めるとしていますが、現状として廃校などの一部が企業などから活用されているものの、ほとんどは低利用・未利用施設が多く、将来にわたる維持管理費の財政負担軽減のためにも、解消策に一層取り組む必要があります。</p> <p>そこで、これまでの取り組みの成果と計画の進捗状況、人口減少を見据えた今後の発生抑制策、利活用・処分方針について、お考えをお伺いいたします。</p>	
2	土砂災害・洪水ハザードマップ（災害予測図）危険個所の対策について	<p>市は、集中豪雨などに伴う土砂災害警戒区域や河川氾濫危険区域をハザードマップとして整備し、市民に周知しております。</p> <p>しかしながら、ハザードマップはあくまで「被害が想定される区域」を示したものであり、市民にとっては不安の可視化にとどまっている側面もあります。</p>	

<p>3 保健と福祉「総合相談窓口」の現状について</p>	<p>市として、これらの危険箇所について、市民の皆さんへの周知にとどまらず、土砂災害防止工事や河川改修などのハード整備面をどのように進めていくお考えかお伺いいたします。</p> <p>近年、本市のみならず全国的に精神疾患や身体機能が低下する若者が増え、高齢の両親による介護負担など、複合的な課題を抱える世帯が増加しています。</p> <p>市は、これらの現状なども踏まえ、市民の皆さんが安心できる相談窓口として、本年度から保健と福祉の「総合相談窓口」を地域保健課に新設いたしました。この「総合相談窓口」の職員体制(保健師や社会福祉士など専門職員の配置)と、市民の皆さんからの相談や問い合わせの状況など設置目的のとおり機能しているのか、お伺いいたします。</p>
-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>順番</p>	<p>3</p>	<p>質問者氏名</p>	<p>阿 部 順 三</p>
<p>質問事項</p>		<p>質 問 要 旨</p>	
<p>1 害獣の出没情報と山間部集落の空き家状況について</p>	<p>春グマ他害獣の出没、山間部集落の空き家の現状について伺います。</p> <p>現在、阿賀野市では、昨年秋ほどの出没情報がないようですが、出没情報はありますか。他の害獣についても、情報がありましたらお聞かせください。</p> <p>本年度は、空き家・空き地の柿木等の伐採なども、条件付きで伐採可能となる予算も付き、計画的に進めると記憶していますが、進捗状況を伺います。</p>		
<p>2 自転車の交通反則通告制度について</p>	<p>令和8年4月1日から自転車の交通反則通告制度が施行されました。安心、安全な自転車利用を促進するための制度であると考えます。これに伴い、警察と協力し市民への周知徹底をしていただきたいと考えます。また、市道の点検・整備も必要と考えます。歩道走行の区分や一時停止などの道路ペイントの整備など計画はあるか伺います。</p>		

順番	4	質問者氏名	遠藤 智子
質問事項		質問要旨	
1 街路樹の点検促進について	<p>国土交通省において、街路樹の倒木や枝の落下による事故を防ぐため、自治体向けの「街路樹点検の実施促進のためのガイドライン」が策定されました。</p> <p>当市にも街路樹が多数ありますが、樹木の管理の必要箇所も見られます。一例として、安田地区の市道、県道、国道の街路樹は、街づくりの役割や人々の心に潤いがもたらされていますが、近年、その街路樹の成長により、景観の悪化や車・歩道への枝のはみ出しなどが見られることから、市道、県道、国道において、道路管理者の違いは重々承知していますが、ガイドライン策定を機会に街路樹の環境整備の検討を図っていただきたく見解を伺います。</p>		
2 学校図書館整備について	<p>各自治体において教育委員会と学校が一体的に整備を進めることが重要とされていますが、次の点を伺います。</p> <p>① 図書整備について</p> <p>目標は学校図書館図書標準100%達成と計画的な図書の更新の実施となっていますが、基準を満たしていない学校への計画的な対応について。</p> <p>② 新聞の複数紙配備について</p> <p>目標は小学校2紙、中学校3紙となっています。現在、本市の小中学校で1紙が8校、中学校2校で2紙となっていますが、今後の配備目標について。</p> <p>③ 学校司書の設置拡充について</p> <p>目標は小中学校等のおおむね1.3校に1人配置（将来的には1校に1人の配置を目指す）となっていますが、当市の現状と今後の学校司書配置の考え方について。</p>		

順番	5	質問者氏名	宮脇 雅夫
質問事項		質問要旨	
1 憲法9条を生かした平和外交について	<p>今年の5月3日、日本国憲法施行から79年となりました。</p> <p>世界では、アメリカ・イスラエルのイラン攻撃、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザでのジェノサイド（集団殺害）など、国連憲章をはじめとする国際法をじゅうりんする武力の行使が続いています。</p> <p>憲法第9条第2項は「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」「国の交戦権は、これを認めない」と高らかに宣言しました。日本が広島、長崎の被爆を経験し、再び戦争をすれば核兵器が使われ、人類が絶滅するという時代認識があったからです。</p>		

<p>2 図書館の運営について</p>	<p>また日本は、1931年（昭和6年）に中国への侵略戦争を開始し、第2次世界大戦に至る侵略戦争の火ぶたを切った国として、とりわけ重大な国際的責任を負っていたからです。</p> <p>日本国憲法の平和主義は、国民の痛苦の経験から生み出された財産であるとともに、再び戦争はしないというアジア諸国民への誓約であり、戦後日本が国際社会で外交をしていくための土台でした。</p> <p>今こそ、この憲法9条を生かし、平和外交を推進すべきときだと思いますが、市長の見解を伺います。</p> <p>図書館の仕事を具体的に担うのは、専門職である司書です。そこで、以下の点を伺います。</p> <p>①市立の全図書館・室に司書を配置することが必要でないか。市立の各図書館・室の図書司書の配置状況（正職員、会計年度任用職員）について。</p> <p>②各学校図書館に事務職員である学校司書を配置すべきです。司書教諭の業務状況と学校司書の配置状況はどうか。</p> <p>③当市の直近5年間の市立図書館・室、学校図書館の資料購入費の推移はどうか。</p> <p>④市立図書館運営協議会の任命数、構成状況、開催状況や出されている主な意見について。</p> <p>⑤図書館の基本は、図書館が資料の選定やサービスを自立して行うことです。そのためには、自治体の長から独立して施策を実施する教育委員会の下で管理運営することが求められるのでないか。</p>
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● 6月2日（火）： 順番6～順番11

順番	6	質問者氏名	松 崎 良 繼
質問事項	質 問 要 旨		
<p>1 有機フッ素化合物（PFAS）対策について</p>	<p>がんなど様々な健康被害が指摘されている有機フッ素化合物・PFASの高濃度汚染が、全国の河川や水道水から検出され社会問題になっています。</p> <p>被害を拡大した新潟水俣病の教訓を生かして、欧米並みの規制と健康調査に国が乗り出すべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>阿賀野市水道の水源である阿賀野川が、上流の半導体工場からの排水が原因と思われるPFASに汚染され、阿賀野市水道原水からは21年22年23年の3年間、5～2ng/LのPFAS汚染が検出されたと報道されました。</p> <p>水道水に限らず、PFAS汚染を監視していくために、自前の検査装置と必要な人員を配置することは、住民の健康とくらしを守ることに使命の自治体としてぜひやるべきだと思います。答弁を</p>		

<p>2 公共調達の入札・契約制度について</p>	<p>求めます。</p> <p>笹岡の旧環境センター周辺や、PFASの製造、使用を行っていると思われる事業所周辺の河川や地下水、土壌の汚染がないか調査が必要と思いますが考えを伺います。</p> <p>3月議会の予算審議で、通学バス運行業務委託の入札で、18コースのバス運行のうち9件が落札率100%で落札し、その一方で8件ものコースが不落になったことについて、市は入札参加事業者が提出した見積書を参考に予定価格を決める制度のためと説明されました。</p> <p>この入札方式の手順の説明と、この方式がどういう調達で採用され、なぜこの方式になっているのかを伺います。</p> <p>このほど建設工事に関して入札価格調査制度を制定し、今年度の入札から適用していますが、その内容の説明を求めます。</p> <p>今回の通学バスに関する入札の混乱は、最低の見積額を予定価格に設定する方式にあるように思われます。建設工事以外でも同様な方式で予定価格を設定するように改革すべきと思いますが、答弁を求めます。</p> <p>通学バスのように、長年地元事業者が安全運行に必要な体制を整備して実施してきた業務については、一般競争入札ではなく随意契約が本道ではないかと思えます。市長の見解を伺います。</p>
---------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

順番	7	質問者氏名	天 野 美 三 男
質問事項	質 問 要 旨		
<p>1 阿賀野市の防犯・安全対策について</p>	<p>こどもの事故を防止するためには、保護者の事故防止意識を高めるための啓発活動を効果的に実施することが重要ですが、それだけではなく、教育・保育施設等の関係者が子どもの事故防止に総合的に取り組む必要があります。</p> <p>当市の小中学校では、「阿賀野市通学路交通安全プログラム」を策定しています。合同点検により抽出された危険箇所に対して、継続的な安全対策が計画的に実施されていると認識しています。現在の取り組み状況を伺います。</p> <p>①市内通学路対策箇所の対応と要望状況 ②通学路や危険と思われる交差点等における白線引き直しの進捗状況 ③見守りカメラと保育園・認定こども園、小中学校等における防犯カメラ設置状況</p>		
<p>2 物価高による観光施設の影響について</p>	<p>阿賀野市は阿賀野バイパスの全線開通で観光地へのアクセスも良くなりました。最近では地元テレビ放送等で阿賀野市の観光地特集なども多く見るようになりました。またこのたび伝統工芸品「安田</p>		

	<p>瓦」をテーマに第6回新潟ふるさとCM大賞でグランプリを受賞しました。阿賀野市の観光施設等の影響について伺います。</p> <p>①五頭温泉郷の宿泊施設の影響</p> <p>②観光施設等の客層</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

順番	8	質問者氏名	天 野 市 榮
質問事項		質 問 要 旨	
1	中学校部活動遠征時の移動について	<p>県でも運動部を中心に大会や練習試合に遠征する機会が増えてくる時期を踏まえ、県内の私立・県立高校に対し部活動の遠征で安全確保を徹底するよう求める通知が発出されている。</p> <p>以上の状況を踏まえ、本市の4中学校の部活動遠征時の移動手段等について、下記の点を中心に伺う。</p> <p>(1) 遠征の回数は年間どれくらいあるのか。遠征先は主に県内か、県外もあるのか。高速道路を利用することもあるのか。</p> <p>(2) 遠征は授業のない休日(土日祝日)が多いと考えられるがどうか。また時期的には春から秋にかけての季節か。</p> <p>(3) 交通手段は何か。マイクロバス、公共交通機関、貸切りバス、レンタカー会社のマイクロバス、その他で分けたらどうか。</p> <p>(4) 運転手はどのようにして手配しているのか。</p> <p>(5) バス運行会社やレンタカー会社から車両を手配した場合、契約書は締結しているのか。運転手についてはどうか。</p> <p>(6) 遠征日程表や車両運行計画書は事前に作成され、学校管理者に提出されているのか。</p> <p>(7) 本市においても今回の事故を教訓にして改善すべき点多々あると思われるがどうか。</p> <p>(8) 休日を中心に部活動の地域展開が進んでいるが、地域クラブとして遠征する場合、学校側はどのように関与しているのか。</p>	
2	空き家等の利活用について	<p>ダイヤモンド不動産研究所が作成・公表している「新潟県の空き家率・空き家数ランキング」によれば、県全体の空き家率は15.3%で全国ランキングは28位となっている。更に県内市町村別で見た場合、本市の空き家率は17.02%で県内ランキングは6位となっている。</p> <p>以上の状況を踏まえ、以下の点を中心に伺う。</p> <p>(1) 本市の空き家2,760戸について、空き家状態になった経過年数で分類した場合どうなっているのか。</p> <p>(2) 「管理不全空家」及び「特定空家」について</p> <p>①現在、認定された戸数はそれぞれ何戸か。</p> <p>②空き家状態になった経過年数との関係性はあるのか。</p> <p>③空き家の所有者の居住場所(市内か市外・県外か)との関係性はあるのか。</p>	

	<p>④固定資産税の収納状況はどうか。</p> <p>⑤空き家がどのような状況になった場合、固定資産税の住宅用地特例から除外されるのか。</p> <p>(3)市は空き家の利活用に向けてどのような支援策を講じているのか。また、管理不全空家等が解体された後の空き地の利活用に向けた支援策についてはどうか。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

順番	9	質問者氏名	村上清彦
質問事項		質問要旨	
1	水原駅前周辺地区まちづくり事業について	<p>本市では、今年度から「水原駅前周辺地区まちづくり事業」を進めるとしている。水原駅前は市の玄関口として重要な役割を担っており、人口減少や地域経済の縮小が進む中で、駅前機能の再構築と地域活性化は大変重要な課題である。全国には駅前再生によって地域活性化につなげている事例が数多くあるが、共通しているのは「駅を単なる通過点にしない。人が滞在する機能を持たせる。若者・高齢者双方が使いやすい。公共交通とまちづくりを一体化する」という視点である。そこで以下について伺う。</p> <p>①プロジェクトチームの設置では、どの部署が参画し、どのような役割分担で進めるのか。また、縦割り行政を超えた実効性ある推進体制をどのように構築していくのか。</p> <p>②施設等整備計画では、駅前地区にどのような機能や施設整備を想定しているのか。また、単なるハード整備にとどまらず、交流人口や関係人口の拡大、若者定住、地域経済活性化にどう結び付けていく考えなのか。</p> <p>③駅前整備は市民生活に大きく関わる事業である。令和6年には地域住民等によるワークショップが開催されているが、計画策定段階から地域住民や商店街、利用者の意見をどのように反映していくのか。</p> <p>④官民連携による地域活性化策を検討するとあるが、民間事業者の参入促進や地域事業者との連携をどのように進めるのか。また、行政主導に終わらせず、持続可能なにぎわい創出を実現するための具体的な方策について伺う。</p>	

順番	10	質問者氏名	清水博英
質問事項		質問要旨	
1	家庭ごみの有料化（案）について	<p>「ゴミの減量」は、生産・流通・販売の各段階でゴミ減量のための有効な対策を講じることが優先されるべきで、市民負担を課すことは根本的な解決とはなりません。有料化について再検討を求めるとともに、次の点について具体的に伺います。</p> <p>①家庭から日常的に出るごみ収集、処理責任は自治体の本来の仕事であることから、税金により賄うべきものであると考えますが、見解をお尋ねします。</p> <p>②今までの、市民へのゴミ減量化への啓発（説明・対話）の取り組み、ならびに補助制度の実績についてお伺いします。</p> <p>③いわゆるリバウンド現象について、県内自治体のゴミ有料化導入実績とその検証があれば、お示し願います。</p> <p>④「クリーンセンターあがのがわ」の処理能力と稼働率についてお尋ねします。ごみ処理に要する年間費用として、約5億円支出していますが、有料化した場合の予算削減額と市民負担額についてお尋ねします。</p>	
2	五頭山登山コースにおける道中のトイレ整備について	<p>全校登山を実施している学校もあり、日常生活では目にすることのできない眼下に広がるふるさとの景色や越後平野、日本海など素晴らしい景観を眺めることができ、子どもたちにとって自然体験の機会として、貴重な経験となっています。そこで、五頭山の自然環境保護対策や登山者の利便や快適性の確保のために、登山ルート途中に「組み立て式トイレ」の整備や「仮設トイレ用ブース」を設けることなどを検討していただきたいと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	
3	軍事的「抑止力」強化について	<p>政府による「安保3文書」の閣議決定から5年が経過し、「防衛費」は、令和5年からの5年間で43兆円、世界第3位の軍事大国になっています。また、政府は国産武器の輸出対象を制限する「5類型」の制約を撤廃しました。軍事による抑止力は平和を守るどころか戦争を引き起こす結果になります。政府に対して軍事同盟強化や大軍拡をきっぱりとやめ、外交による平和創出に徹するよう求めるべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	

順番	11	質問者氏名	荒澤浩和
質問事項		質問要旨	
1	京ヶ瀬中学校グラウンドの改修工事における工期と施工管理について	<p>京ヶ瀬中学校グラウンド等整備工事において、竣工までの期間が「冬期間（降雪・低温期）」に重なる予定となっています。本工事は子どもたちの教育環境に直結する重要事業であり、工期の設定及び冬期間の施工における品質管理について、市の認識を質します。</p>	

<p>2 本市における体育館の利用状況と一般市民の利便性向上について</p> <p>3 京ヶ瀬中学校グラウンドに関するサウンディング型市場調査の進捗状況について</p> <p>4 阿賀野市農業用機械導入支援事業補助金の公募結果と今後の見通しについて</p>	<p>①冬期間の施工に伴う排水工事やグラウンド整備への影響について、市はどのようにリスクを想定し、品質を確保する考えか伺います。</p> <p>②市として現場の声をどのように把握し、円滑な施工に向けてどのような対策を講じるのか伺います。</p> <p>市民の健康増進や生涯スポーツの推進を掲げる本市において、市民が使いたい時に施設を利用できない現状は大きな課題です。現状を正確に把握し、今後の利用枠の適正化や利便性向上につなげるため、以下の点について伺います。</p> <p>①各体育館における直近の「稼働率（利用状況）」および曜日・時間帯ごとの傾向について伺います。</p> <p>②各体育館における「市内利用者」と「市外利用者」のそれぞれの人件（または割合）の推移について伺います。</p> <p>今後の事業展開や民間活力導入の可能性を占う上で、今回の調査への関心度がどの程度であったのか、また本調査における「現地見学会への参加件数」および「提案書が提出された件数」について伺います。</p> <p>「阿賀野市農業用機械導入支援事業補助金」について、その公募結果と今後の農業施策への反映について伺います。公募要領には「申請者の取組をポイント化し、合計ポイントの高い申請者から交付対象者とする」という採択基準が示されており、意欲ある農業者への重点的な支援が期待されていたところです。</p> <p>そこで、以下の点について具体的な公募結果を伺います。</p> <p>①応募件数（申請数）は何件あり、何件が採択（交付決定）されたのか、執行状況を伺います。また、総予算額対する最終的な執行（見込）額についても併せてお示してください。</p> <p>②採択における「ポイント化」の実績について</p> <p>本事業の大きな特徴である「取組のポイント化による審査」について、交付決定を受けた者のうち、「最高ポイント」および「最低ポイント（採択ライン）」はそれぞれ何点であったのか伺います。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● 6月3日(水)：順番12～順番13

順番	12	質問者氏名	風間輝榮
質問事項		質問要旨	
1	し尿処理収集業務委託について	一般社団法人阿賀野市環境事業公社側が裁判の取り下げを行い、その後定期的に話し合いが行われていると思いますが、主な要望はどのような内容なのか伺います。	
2	物価高対策について	物価の高騰や燃料費などエネルギー価格高騰に直面する市民生活を支援するため、1人5千円分の生活応援商品券の配付、水道基本料金6か月支援、国の方針で7月から9月までの電気・ガス料金の支援がありますが、この他に市独自の支援策は考えているのか伺います。	
3	部活動遠征バスについて	今回福島・磐越道で起きた痛ましい事故を教訓に子どもたちの部活動遠征バスの安全運行のためにどのような対策が必要なのか考えるべきだと思います。当市の部活動遠征バスの現状はどのようなになっているのか伺います。	

順番	13	質問者氏名	菅原道明
質問事項		質問要旨	
1	EBPM（証拠に基づく政策立案）の推進について	<p>本市においては、予算編成方針等においてEBPMの推進が掲げられているが、その実効性について以下の点を確認する。</p> <p>1 EBPMの位置づけと運用について</p> <p>本市におけるEBPMは、事業評価資料としての活用にとどまるものか、それとも予算編成や事業の採択・見直し等の意思決定に実際に活用されているのか、その運用実態について伺う。</p> <p>2 データの活用体制について</p> <p>福祉、教育、産業、移住等の各分野におけるデータを横断的に連携し、政策立案に活用する体制の整備状況について伺う。</p>	